

新宿公民館便り

～つどい まなび つなぐ～

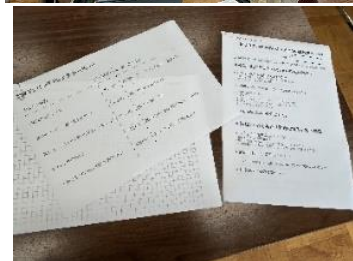
セミの鳴き声が聞こえてこない……。夏休み前の登下校時、児童生徒たちは水泳道具の入ったビーチバッグを抱えて大勢歩いていた。見上げると太陽がギラギラとまぶしく、そして、うるさすぎるほどのセミの鳴き声があふれていた。以前は……。

ニュースでセミが鳴いていないことが話題になっている。確かにうちの近所の公園からも聞こえてこない(7月15日現在)。6月が暑すぎたことも影響していることをラジオでも伝えていた。地中7年地上7日と言われるセミの生涯も狂わすような異常気象が続く。人は様々な工夫を繰り出すしかない。どうか皆さん、ご自愛ください。

主催事業報告 6/25(水)

「整理収納講座～家の中の動線チェック～」

人気の「整理収納」シリーズ。整理収納アドバイザーの中島先生の講座です。使いたいものをすぐに取り出せるように片付けてあります。洗濯や調理をするときにスムーズに動けるように配置されていますか？すぐに取り出せるように、さらには仕舞いやすく収納されていますか？……などなど、家の中の動線を考えた時の収納について教えていただきました。



家の間取りを描いて動線をたどってみたり普段抱えているお悩みを書き出してみたりするワークシートを先生に用意していただきました。参加者の皆さんは、互いに自分の悩みや実体験を語り合いながら、改めて家事について学ぶ機会となりました。先生の「まずは財布の中を整理してみよう。」のアドバイスに、私は素直に聞き入れるしかないようです。

アンケートの一部を紹介します。

・大変勉強になりました。ものへの向き合い方、動線の気づき、今日から一歩踏み出す元気が出ました。・自分の悩みは、物が多くて片付かない、でし



【今年もキキョウが咲きました】

たが、今日の講座はとても参考になりました。動線については、運動になるから苦にならない、健康のために good、と自分に言い聞かせていました。でも、不要な動線は必要なかったのですね。・なかなかこういう講座に巡り合うことがないし、無料ということでとてもありがたいです。小さいことから始めて成功体験を積みたいです。・とても面白かったです。今、先生から話を聞いて熱くなっているので、帰ったらすぐに洋服の整理から始めたいと思います。・非常にわかりやすく、具体的なアドバイスでした。・わかっていることではありましたが行動の変容に至らず、再認識を強くしています。・断捨離をしようと思っていた時に講座で収納術を教えていただきありがとうございました。・やってみようかな、という気持ちに少しなり、小さいモノから進めてみたいと思います。自分の場所づくりと動線について考えて進めたいです。

主催事業報告 7/9(土)

「すてきにエコクラフト～紙バンドでツイストリースづくり～」

これも人気のエコクラフトの講座で、毎年多くの応募をいただいています。エコクラフトサークルの皆さんにご指導いただきながらツイストリースを仕上げました。2色の紙バンドを編んで40cmほどにします。私もやってみました。紙バンドを通す順番を間違えなければ単純な作業なのですが、締めすぎると硬くなるし、緩すぎると空間ができてしまうので、締める度合いを一定にするのが難しかったです。できたものを2回ひねって前後を結合させて円になるようにします。リボンを付けてリースが出来上がりました。真ん



令和7年度 第5号
令和7年7月16日(水)
発行 千葉市新宿公民館
住所 中央区新宿 2-16-14
電話 043-243-4343

中の空間に、クリスマスの装飾などを飾ることもできるそうです。

アンケートの一部を紹介します。

・クラフトを一人で始める
勇気がなくて今回がよいきっかけになりました。これからいろいろ教えていただきたいです。・先生方がとても丁寧に教えてくださったのでとても素敵なリースが出来上がりました。ありがとうございました。先生方のとても丁寧なご指導のもと、手直しもしていただきありがとうございました。丁寧に教えていただけたので完成できました。いろいろアレンジできそうで嬉しいです。夢が広がりました。他の作品にも挑戦してみたいです。・親切、丁寧に教えていただきました。ありがとうございました。先生のペンダントが素敵でした。作れたらいいと思いました。



主催事業報告 6/26(木)

「ハーブ活用術 ① ラベンダーバンドルズ」

石原ハーブガーデンの石原さんによる、人気のハーブ講座全3回の1回目。今回は摘んだばかりのラベンダーを束ねて、色付きの紐を編みこんでいくクラフトづくりでした。見た目もきれいで、装飾として、また、ほのかな香りの芳香剤としても楽しむことができます。

今回は7月17日。たくさんのスパイスをブレンドしたスパイスカレーを作ります。



お中元の意味

昔々、中国のある神さまに3人の娘がいたそうです。そのうちの一人が産んだ、7月15日生まれの男の子は、中元二品の地官という人間の罪を許す位を授かったそうです。そしてやがて日本に伝わり、中元の時期とお盆が重なったので、お中元の習慣が残ったのだとか。ですから、7月15日は、贖罪、罪滅ぼしの品を贈る日。日頃、迷惑や心配をかけている人に、改めて感謝する日、なのだそうです。

かつてはこの時期になると、お世話になった方に贈り物をする習慣が定着していました。デパート

のお中元コーナーは今も盛況なのでしょう。ビールやハムやカルピスなど、テレビではコマーシャルにも多く取り上げられていましたが、最近はほとんど見かけませんね。改まって贈り物をするに、贈る側も贈られる側もなんか気を使ってしまう時代になったからなのでしょう。ごめんなさい、ありがとうございます、これからもよろしくおねがいします、などの心の動きは、まずは日々の生活や毎日の顔合わせの中の何気ない仕草や言葉に表されていくことが一番だと思います。

皆様、いつもお世話になります、ありがとうございます…。公民館だよりの発行が遅れてしまったことをお許しください…。

声に出す日本語

先日、数年ぶりにカラオケにに行ってきました。何度か挑戦した演歌を気持ちよく唸ってきたのですが、なんとなく顎というか口の動きが若い時と違って滑らかでなくなったと感じたのです。口の周りの筋肉まで柔軟性が失われているのでしょうか。

そこで今日は早口言葉。

皆さん、すらっと声に出せますか？

「生麦生米生卵」 (なまむぎなまごめなまたまご)

「赤巻紙青巻紙黄巻紙」

(あかまきがみあおまきがみきまきがみ)

「京の生鰯奈良生まな鰹」

(きょうのなまだらならなまながつお)

「竹屋にたけ高い竹立てかけた」

(たけやにたけたかいいたけたてかけた)

「特許許可する東京特許許可局」

(とっきょきよかするとうきょうとっきょきよかきょく)

「小米の生噛み小米の生噛みこん小米の生噛み」

(こごめのなまがみこごめのなまがみ)

こんごめのこなまがみ)

早口言葉は言い間違えを楽しむ遊びです。意識と肉体とがずれる「もどかしさ」を楽しみ合う、人間ならではの高級な遊びだそうですよ…。

オニユリも

うつむき加減の

送り梅雨

～茹だるような暑さは

これからか…



(新宿公民館 館長 迎 浩二)